


水産学部に入るためには 入試スケジュール（令和6年度入学者用）

入試制度		令和5年9月	令和5年10月
<h2>フロンティア入試</h2> <p>フロンティア入試(総合型選抜)は受験生の能力や資質を多面的に評価する入試制度で、学力を含めた多様な個性・能力・資質・適性・目的意識や意欲を、提出書類、課題論文及び面接等で総合的に評価します。 フロンティア入試によって、将来、日本や世界をリードして人類・社会に貢献したいという人材を意欲・思考力・学力から総合的に判断します。</p> <p>受験会場：函館キャンパス(第2次選考) 募集定員：20名</p>		<p>9月14日～9月20日 フロンティア入試 出願期間</p>	
<h2>一般選抜</h2> <p>一般選抜は、高等学校卒業(見込み)の方又は同等の学力を有すると認められた方を対象に、「大学入学共通テスト」の成績と「個別学力検査等」の成績及び調査書等を総合して合格者を決定する入試制度です。</p> <p>※一般選抜(前期日程・後期日程)の募集定員・各種日程については、昨年度の入試実施日を例として記載しています。</p>	<h3>前期日程</h3> <p>受験会場：札幌キャンパス 水産学部募集定員 総合入試(理系)：40名* 学部別入試：105名</p> <p><small>※総合入試で入学した学生のうち、40名を定員として2年次から水産学部へ移行</small></p>		<p>9月下旬～10月上旬 大学入学共通テスト出願期間</p>
	<h3>後期日程</h3> <p>受験会場：函館キャンパス 水産学部募集定員 学部別入試：50名</p>		

入試イベント	令和5年度 開催日	
<h2>オープンキャンパス</h2> <p>対面開催(予定)</p> <p>オンライン函館 オープンキャンパス いつでもアクセス可 >>></p> 	<p>札幌 8月6日 自由参加プログラム</p> <p>函館 8月7日 高校生限定プログラム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●自由参加プログラム 大学を目指して勉強中の高校生や中学生等に水産学部を知っていただくために、札幌キャンパスで学部の紹介や模擬講義を行います。 ●高校生限定プログラム 大学で行われている実験や実習を体験することで、水産学部を肌で感じることができます。また、実際に研究室を訪問し研究内容などを聞くこともできます。このプログラムを通して水産学部への進学、将来の夢や可能性の具体的なイメージを描いてください。実験・実習体験だけではなく、練習船の見学もできます。
<h2>進学相談会</h2> <p>オンライン開催</p>	<p>1回目 10月15日</p> <p>2回目 10月29日</p>	<p>令和4年度に引き続き、オンラインで実施します。 各学部で個別&グループ相談会を実施する予定です。 水産学部の先生に直接相談したい方はぜひ参加してください。</p>

フロンティア入試、一般選抜(前期日程・後期日程)の3通りあり、これら全てを受験することができます。

令和5年11月	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月	令和6年3月
<p>第1次選考結果発表 11月6日</p> <p>第2次選考実施日 11月19日 (函館キャンパスで受験)</p>	<p>第2次選考結果発表 12月7日</p>	<p>大学入学共通テスト 1月13日・14日</p>	<p>最終合格者の発表 2月7日</p>	
			<p>前期日程試験 2月25日 (札幌キャンパスで受験)</p>	<p>合格発表 3月上旬</p>
		<p>一般選抜出願期間 1月下旬～2月上旬</p>		<p>後期日程試験 3月12日 (函館キャンパスで受験)</p> <p>合格発表 3月下旬</p>

フロンティア入試の
詳細はこちらから



[https://www.hokudai.ac.jp/
admission/faculty/ao/](https://www.hokudai.ac.jp/admission/faculty/ao/)

最新の入試情報に
ついてはこちらから



[https://www.hokudai.ac.jp/
admission/faculty/general/](https://www.hokudai.ac.jp/admission/faculty/general/)

オープンキャンパス・
進学相談会の詳細、
お申し込みはこちら
から



[https://www.hokudai.ac.jp/
admission/events/oc/](https://www.hokudai.ac.jp/admission/events/oc/)

水産学部は、
「水圏に強い関心を持ち、
深く探求したい人材」
を求めています。